

# 日本電話相談学会第36回大会のご案内

本年も日本電話相談学会第36回大会の開催についてお知らせする時期となりました。今年5月8日以降、現時点では私たちの多くの領域で通常の生活を取り戻しました。他学会の年次研究大会も参集あるいはハイフレックス形式(対面とオンライン同時に行う)での開催が散見される中、当学会第36回大会の開催形式につきまして、常任理事会で検討を重ねた結果、今回もオンラインにて開催することといたします。決定の理由は、1)5月8日以降もコロナ感染者は後を絶たない、2)全国各地からの参加者があり、オンラインの方が参加しやすいという声も多い、3)ハイフレックス形式は準備と当日のトラブル対応など準備委員会の負担が大きいことが挙げられます。今年こそは参集での大会を！と期待されておられた会員の方も少なくないと思いますが、ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

36回大会テーマは「精神障害と電話相談」としました。精神障害者からの電話相談は、対応がとても困難です。精神科の医療機関で働いている相談員にとってもその対応はなかなか難しいが、まして、医学的・専門的知識が充分でない電話相談員にとっては、どのように対応していいか困惑する場合も少なくないと思います。相談員自身が、自分のできることとできないこと、してよいこととしてはいけないうことについて、正確な自己認識をもつこと、などが必要でしょう。

オンライン開催ではありますが、初日は研究発表を軸に、基調講演とパネルディスカッション、2日目はワークショップと、今年度も会員のみなさま同士の交流と研鑽の場として、充実したプログラムを準備しています。ぜひ、多くのみなさまのご参加をお待ちしています。

2023年7月吉日

日本電話相談学会第36回大会準備委員会

## I. 実施要領

- 開催期日:2023年12月2日(土)・12月3日(日)
- 開催方法:Zoomミーティングによるオンライン開催  
(Zoomミーティングの詳細は最後のページをご参照ください)
- 大会テーマ:精神障害と電話相談
- 参加資格
  - 日本電話相談学会正会員 ・日本電話相談学会機関会員(3名まで)
  - 電話相談・オンライン(インターネット)相談に携わる非会員
- 大会行事と日程

12月1日(金)	12月2日(土)	12月3日(日)
	9:30 ~ Zoom入室可 10:00 ~ 開会 10:15 ~ 11:00 研究発表 11:15 ~ 12:00 総会 12:00 ~ 13:00 昼食・休憩 13:00 ~ 14:30 講演 15:00 ~ 17:00 シンポジウム	9:00 ~ Zoom入室可 9:30 ~ 12:30 ワークショップA ワークショップB 12:30 ~ 13:30 昼食・休憩 13:30 ~ 16:30 ワークショップC ワークショップD
18:00~ 常任理事会 19:00~ 理事会		

## 6. 参加費

### <大会参加費>

正会員(事前申込のみ) 3000円 機関会員(3名まで) 3000円

非会員 4000円 学生 2000円

\* オンライン開催のため、当日受付はできません。ご注意ください。

\* 機関会員は登録機関につき3名までの参加費です。4名以上参加される場合は、4000円の納入(非会員扱い)となります。

### <ワークショップ参加費>

1コースにつき 正会員 2000円 機関会員(3名まで)2000円

非会員 3000円 学生 1000円

\* 予約参加のみとなります。

- \* 大会とワークショップ、両方に参加する場合は、それぞれの参加費が必要です。
  - \* 事前に申込みいただいた参加費は参加を取り消された場合でも返金できません。
- ただし、インターネット環境によりご参加できなかった場合には、返金いたします。

## II. プログラム概要

2023年12月2日(土)

研究発表 10:00 ~ 11:00

座長: 交渉中

総会 11:15 ~ 12:00

- \* 議決権はありませんが、機関会員の参加者のなかから、代表者の方には出席いただければとお願いいたします。非会員の方は出席できません。

昼休憩 12:00 ~ 13:00

大会企画基調講演 13:00 ~ 14:30

電話相談員が精神障害に向き合う -睡眠へのいざない-(仮)

講師: 岡島 義 (東京家政大学人文学部心理カウンセリング学科 准教授)

### <講師紹介>

東京家政大学人文学部心理カウンセリング学科准教授。1979年、東京都に生まれる。2003年、日本大学文理学部心理学科を卒業。2008年、北海道医療大学大学院心理科学研究科博士課程を修了、博士(臨床心理学)取得。睡眠総合ケアクリニック代々木主任心理士、早稲田大学人間科学学術院助教を経て、2018年より現職。公認心理師、臨床心理士、専門行動療法士、産業カウンセラーとして睡眠障害や気分障害、不安症に苦しむ方々への支援をしながら、認知行動療法の効果を高めるための研究活動をおこなっている。

大会企画シンポジウム 15:00 ~ 17:00

企画趣旨: 精神障害者はどうして電話をかけてくるのか。医療機関とつながっていれば主治医がいるはずで、家族もいるでしょう。仮に一人暮らしでも福祉関係者がかかわっているはずで、それでも電話をかけてくるのはなぜでしょう。主治医・家族・福祉関係者が十分に話を聴いてくれない、あるいはその人たちには話せないのでしょうか。そこでじっくり話を聴くことができれば、気持ちは落ち着き、沈んだ気持ちも明るくなるでしょう。診断や治療とは無縁である電話相談の存在意義について、あらためて考えてみる必要があるのではないのでしょうか。

### 精神障害と電話相談

<話題提供者>

1、日本臨床心理士会による電話相談と精神障害

齋藤 ユリ(日本臨床心理士会支援事業部)

2、産業領域にける電話相談と精神障害

川杉 貴代(保健同人フロンティア)

3、交渉中

12月3日(日) ワークショップ … 詳細はV. ワークショップ をご覧ください。

## III. 大会参加申込み

事前参加申込みのみ、Google Formからの受付となります。当日参加はできませんので、ご注意ください

い。

Google Form は以下からアクセスしてください(日本電話相談学会ウェブサイトからもアクセスできます)。<https://onl.la/Vt1NZVJ>

QRコードからもアクセスできます。



#### <参加費のお支払い方法>

以下の口座に参加費用を納入してください。

参加費用納入の確認を持って事前参加申込完了となります。

銀行名 みずほ銀行 支店名 経堂(きょうどう)

種別 普通 口座番号 1217637 口座名義 日本電話相談学会

#### <申込み締切日>

事前申込期限(振込完了)は 2023年 10月 10日(火)です

#### IV. 研究発表申込み

##### 1. 研究発表の要件

・筆頭発表者は、正会員であること。連名発表者は機関会員でもよいが、大会参加する3名までとする。  
・発表者(連名発表者を含む)は開催年度を含む年度会費および大会参加費を所定の期日までに納入済みであること。

##### 2. 研究発表の内容

電話相談、インターネット相談に関する事例・調査・実践活動についての研究です。電話やインターネットへの意識など、基礎的研究も含まれます。

##### 3. 研究発表申込の登録

日本電話相談学会ホームページより、「研究発表申込書」をダウンロードし必要事項を記載して、メール添付でお申込みください。その後、研究発表原稿をご提出いただきます。

研究発表申込期限は 2023年 10月 10日 (火)《必着》

##### 4. 研究発表論文集原稿の作成

「研究発表申込書」にてお申込みいただいた方に、「研究論文集原稿」のレイアウト済みファイルをお送りいたします。レイアウトを変更しないように作成し、送信してください。

なお、掲載様式を統一するために書式を整える場合がありますので、ご了承ください。

発表論文集原稿期限は 2023年 10月 20日(金)《必着》

##### 5. 研究発表論文集原稿作成にあたって

###### <倫理的配慮>

大会研究発表のみならず、電話相談・インターネット相談の実践活動において倫理を遵守していることが大切です。対象者・関係者・組織・機関の人権や尊厳が傷つけられることのないよう留意してください。可能な限り、対象者および所属機関の了解を得るようにしてください。

オンライン開催のため、事例研究はお控えいただきますようお願い致します。

###### <論文作成の注意点>

1 原則として、事例研究の場合は「はじめに、事例の概要、面接経過、考察」、調査研究、実践研究

の場合は「問題と目的, 方法, 結果, 考察」の形式としてください。

- 倫理的配慮と形式を踏んでいるかの観点から準備委員会が査読を行います。原稿の修正を求めることがありますのでご了承ください。

## 6. 研究発表お申込・お問い合わせ先

日本電話相談学会大会事務局 E-mail : soudangaku@gmail.com

## V. ワークショップ \* 午前1コース/午後1コース、計2コースまで申し込み可能です。

午前コース 9:30~12:30

A 田附 あえか(大正大学)

「家族支援の基本:電話相談に活かすために」

クライアントにとって、家族は幸せや楽しみの元であり、最大の援助者であり、時には苦難や混乱の源泉にもなりえます。このワークショップでは家族支援・家族療法の基礎的知識を身に着け、事例や演習をとおして実践的な理解につなげることをめざします。前半は講義形式で、家族療法の考え方について、基礎から学びます。後半は、演習をとおして、電話相談という臨床実践に役立つような家族支援、家族アセスメントの視点を体験的に考えます。電話相談における家族療法の活かし方を一緒に考えましょう。

B 黒沢幸子(目白大学/KIDSカウンセリングシステム)

「解決志向ブリーフセラピーの発想と技法~電話相談の対話に活かす~」

解決志向ブリーフセラピーは、問題や原因探しではなく、解決に焦点を当てていきます。リソース(資源)や強み、また解決(望む姿)について、相手を肯定し尊重しつつ丁寧な対話によって、その方の力を引き出し、その望む解決の姿をともにつくる支援を行っていきます。もともとは依存症やDV等、容易に改善が望みにくく失意や不安のなかにある方々やご家族への心理療法の実践から開発され、シンプルで利用しやすく効果性効率性が高いこのモデルは、今では多くの対人援助領域で用いられています。電話相談にも大いに活かしていただけたらと思います。研修は、楽しみながらご自身のエンパワーにもつながるものにしたと思っています。

午後コース 13:30~16:30

C 杉山 雅宏(東京家政大学)

「電話相談の基礎-人生の

4つの悩みを聴かせていただく-」

話を聴かせていただくとき、悩みが提示さ

れ、それが解決されていく過程を予測できれば、相談員はイライラしないで、じっくり腰をすえて傾聴することができます。悩みを理解しその解決の予測を持てることが、コーラーの話を「賛成して聴ける」ための必須条件です。そのためには、悩みをきちんと分類でき、それぞれにどんな解決策があるのかを知っていなければなりません。人の悩みを4つに分類し、4つの悩みには共通の構造があります。「こうしたい、こうすべき」だけれど、「そうできないので、悩み苦しむ」。この悩みの本質について本ワークショップでは取り上げ、聴く力アップを目指します。

D 川端康尋(ダイヤル・サービス株式会社)

「電話相談における自殺関連行動への対応」

1998年から11年続いた3万人を超える自殺者数は、国をあげての取り組みもありその数を減らすこととなりました。しかしながら本邦では未だに先進国の中で高い自殺率が継続しています。電話相談を受ける相談員は、電話相談の特性である匿名性もあって、「死にたい」と吐露する声に対応することがあります。援助希求行動としての1本の電話に込められた声にどう耳を傾けどう対応するか、日々悩むことがあるかもしれません。本ワークショップではこれまでの自殺予防に関する知見を整理し、電話相談における自殺関連行動への対応について、プレゼンテーションとワークを通して学ぶ機会としたいと思います。

## Zoomミーティングリンクについて

Zoomミーティングのリンクは、参加費振込を確認した各参加者宛に、11月24日以降に学会アドレスより、メールで送信いたします。

この情報は振込を確認できた参加者のみにお知らせするものです。情報の管理にはくれぐれもご注意いただきますようお願いいたします。

\* 勤務先等で複数の方が1台のパソコンでZoomに参加することによって、「感染」等何らかのトラブルがあった場合、学会として責任を負うことはできませんこと、ご理解ください。

### アクセスされた際のお願い

- ・参加申込をされたアカウント・お名前の表記でアクセスしてください。  
参加申込者以外の方が本大会Zoomにアクセスすることは厳禁です。
- ・お名前の表示を「お名前(ご所属)」のように設定してください。
- ・可能な限り、安定したインターネット環境、プライバシーの守れる環境でのご参加をお願いいたします。
- ・「ビデオ画面はオフ」「音声をミュート(消音)」でご参加ください。発言される際には「音声のミュートを解除」し、「ビデオ画面をオン」にさせていただきますようお願いいたしますが、その際、背景も映り込みますので、ご自身のプライバシーの保護にお気を付けください。
- ・ただし、ワークショップにおいてブレイクアウトルームを使用する際には、「ビデオ画面オン」「音声のミュートを解除」いただくと、お話し合いがしやすいです。
- ・発言はしにくいけど質問したい、という場合には「チャット」をご使用いただけます。
- ・録音・録画は禁止です。
- ・事前Zoom練習は実施しません。もし、不安がある場合には、soudangaku@gmail.comまでメールをください。出来る範囲でお手伝いします。学会当日の電話サポートはありません。学会当日のご連絡はsoudangaku@gmail.comをお願いいたします。

以上